

輸送動向について（平成27年度第3－四半期）

平成28年1月

1. 輸送概況

10月上旬の台風23号上陸、11月及び12月の発達した低気圧接近等の影響により、高速貨118本が運休した（前年同期間は、高速貨1,172本、専貨18本が運休）。

品目別にみると、前年10月は東海道線由比～興津駅間での土砂流入による影響を受けたこともあり、コンテナ貨物は、ほぼ全ての品目が前年を上回り、全体では107.1%となった。ドライバー不足による需要増加等により積合せ貨物や食料工業品が大幅な増となったほか、北海道地区の馬鈴薯・玉葱等の生育が良好により農産品・青果物も前年を上回った。

車扱貨物は、石油が11月から12月にかけて気温上昇による灯油の売れ行き不振、セメント・石灰石が顧客工場の定期修理等の影響で減送となり、車扱貨物全体では前年比93.7%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比102.9%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	3－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,931	5,537	107.1%
車扱	2,339	2,497	93.7%
合計	8,271	8,034	102.9%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	694	671	23	103.5%
	化学工業品	545	509	36	107.2%
	化学薬品	394	375	19	105.2%
	食料工業品	970	885	85	109.6%
	紙・パルプ	852	818	34	104.2%
	他工業品	406	372	34	109.2%
	積合せ貨物	720	608	112	118.3%
	自動車部品	177	170	7	104.2%
	家電・情報機器	115	111	4	104.1%
	エコ関連物資	111	105	6	105.3%
	その他	946	914	32	103.6%
	コンテナ計	5,931	5,537	394	107.1%
車扱	石油	1,582	1,651	-69	95.8%
	セメント・石灰石	360	425	-65	84.7%
	車両	233	239	-6	97.6%
	その他	164	182	-18	90.2%
	車扱計	2,339	2,497	-158	93.7%
合計	8,271	8,034	237	102.9%	

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）